

Dear Michi

ホームステイでは、始めの頃は本当に気を使ってしまって、何をすることも遠慮していました。そのホストが気に入って、余計に好きだから気を使っていたかも…。でも、長い間お世話になってると、ホストとの付き合い方なども学んでいって、それほど苦痛じゃなくなりました。学校では、先生達が人として良い人ばかりだし、日本の学校の先生とは仲が良くても、学校で話す程度だけど、家に招いてもらったり、優しい人ばかりでした。授業も自由な感じで、発言する事が多くて、自分から進んで答えを言って行く様な環境なので、初めの内は戸惑いとかがあったけど、今では恥ずかしがらずに発言できる様になりました。



日本だったら、クラスで発言する事が恥ずかしい事に思われがちだけれど、今ではそれが変な事に思われます。ニュージーランドに留学してから、3ヶ月程で約1.5センチぐらい身長が伸びました！それに、すこしづつだけど、精神年齢も大きくなって行った様な気がします。もしも留学していなかったら、平凡な高校生活とか、勉強に追われるだけの生活を送っていた様な気がします。

坂上千明

2月から国立テームズ高校2年に編入



娘がN Zへ行った経緯…石井久安



難波三津子先生とは、ある会合で昼食のテーブルがたまたま向かいだったというご縁で知り合いになりました。海外で環境を変えることによって子供たちは大きく成長しますよという先生のお話を興味深く聞かせていただきました。家に帰って話したところ、大学1年の娘が是非ニュージーランドに行きたいということになりました。彼女は希望する大学に入ったものの、今後の目標を見失っていました。新しい自分を見つけないかと思っていたところにニュージーランドへの語学留学の話が飛び込んできたのです。1週間後には難波先生と直接会って留学の話を決めてきました。そして1ヵ月後の11月1日にはもうニュージーランドのフィティアンガにあるEVAに入学していました。それから3ヶ月、手紙や電話でのやり取りはありましたが、ニュージーランドはいいところよ、お父さんも是非来てみない？という娘の誘いに乗って、私は今年の1月20日に日本を出発しました。それからまる11日間、娘と二人だけのとても充実した旅行をさせていただきました。私の旅行の目的は、一つにはニュージーランドの壮大な自然に出会うことと現地の人と触れ合うことでした。二つ目の目的は、今後の進路について娘の相談にのってやることでした。しかし旅行のあまりの楽しさに、二つ目の目的は全く果たせませんでした。ニュージーランドでの旅行の楽しさはいくら話してもきりがありません。どの町にもインフォメーションセンターがあり、丁

寧にいろんなことを教えてくれます。バスや列車の予約、ホテルの予約等ほとんどをそこで決めました。旅行を通じて、現地の人々が自然を本当に大切にしているということに感動しました。そして一番感動したことは、皆とてもフレンドリーで最後にはニコット微笑んでくれることでした。私たちの旅行を最高のものにしてくれたのは実はこのニコッです。3ヶ月前に娘が初めて生活し始めたときには、ホームステイ先のおばさんの話が速すぎてよく聴き取れないと半バツをかいて電話をしてくることもありました。それがうそのようにリスニング力がついているのには私も驚きました。現地の人の話していることがよく理解できませんが、外国へ行くこうとする若い人たちの目的は人によっていろいろでしょう。英語を勉強したいという人もいれば、スキルを身につけるために行くという人もいますでしょう。日本の学校になじめなかったので環境を変えるために行くという人もいますでしょう。どんな目的であれ、やはり日本を離れて生活するという事は大変です。それゆえにとっても大きな自信と誇りを身につけることは間違いありません。ニュージーランドには、今の日本が失ってしまった大切なものがたくさん残っています。若い人たちは是非このニュージーランドの素晴らしさを体感して欲しいと思います。4月には今度は妻が娘に会いに行ってきます。妻も成長した娘に会うとききっと驚くことだろうと私は密かに楽しみにしています。娘に素晴らしいチャンスと環境を提供して下さった難波先生には心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

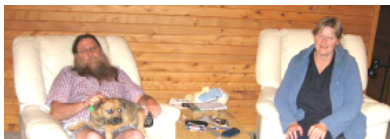
English Voyage Academy in New Zealand

Dear Michi

ホストファミリー宅にて

酒井 亮

此方に来てから6ヶ月が経ち、心身のバランスが戻って来ましたので、ニュージーランド便りを送ります。ホストファミリーは、この言葉の通り、異国の地でまさに家族と呼べる人達です。誰よりも長い時間を一緒に過ごす人達であり、生活面、語学の事はもちろん、他にもいろいろな面でサポートをしてくれます。私の場合は、車まで貸してくれましたが、これは、なかなか無い事だそうですね。休みの日に、近くのビーチに連れて行ってあげることもありました。初めて来た外国の地で、不安いっぱい私を支えてくれた事に、とても感謝しています。さてEVA校は常時、約20人ぐらいが英語を学んでいる学校で、大きな学校ではありませんが、その分、とても家族的な雰囲気があります。先生やスタッフの人達もフレンドリーで、親しみやすい人達ばかりです。授業のやり方も非常に工夫されていて、生徒を飽きさせないように、金曜の午後は、アクティビティーの時間でニュージーランドならではの体験ができます。たとえば、乗馬、射撃、スキューバダイビング、金鉱探検など。なんだ、それなら他の場所でも出来ることばかりじゃないかと、思うかもしれませんが、自然の豊かなニュージーランドでやる事に意味がある事が体感できます。とにかく今は、かけがえのない経験をしている最中です。インターナショナルロッジに引越して一ヶ月になりますが、ここは自由な代わりに、すべてを自分でやらなければなりません。特に大変なのが料理です。料理は殆んど出来なかったけど、その気になれば何とかなるもので、今では毎日、自炊をしています。ロッジには他の語学学校の生徒や卒業生、旅行者なども滞在していて、いろいろな国の人達と交流できるのは良い経験になっています。ホストファミリーやEVAの先生は、私の英語のレベルを知っているので、分かりやすく話してくれますが、特に旅行者などはそういう訳には行きませんが、でも、英語を学ぶ環境としては、良い場



所だと思います。と、まあこんな感じで英語と料理に奮闘している毎日です。では、近いうちに第2便を送ります。

娘のN Z留学…坂上眞貴子

高校に入ったものの受験の延長上に学習や部活に追われる毎日が続き、それに疲れたのか、足が遠のいてしまい、半年間葛藤している子を見て、親として何をすればいいのか私自身も葛藤の毎日でした。親が進めた学校だったので親への反抗心もあり、親子の気持ちがすれちがう日々でした。とにかく外の空気をすわせたい、環境をかえさせてあげたい、しばらく親や学校からはなれ、のんびり自分のことをみつめさせたい…その思いの日が続き、あるときふっと立ち寄った本屋で居場所探しの本が目にとまり留学が転地療法になるという難波先生の記事を読み、とりあえず何かに当たってみようという気持ちで電話をしました。さっそく難波先生から送られてきたパンフや会誌をさりげなく見せ母親自身、独身のときに旅行で訪れたことのあるNZの自然、気候のよさ何より人々がのんびりゆったり生活している、それに人情味のある日本人に共通するところにも魅せられたことを話しました。ちょっと娘自身も環境をかえたい、親から自立したいという気持ちが強くなっていったところにタイミングよく話のできたのか、翌日妹にこっそり行こうかなと言いつつ、何も決まっていないうちに友達にNZに留学するかもとメールをしていたと聞き驚きました。意外な展開に親の方がびびくりしたぐらいで…。難波先生との面談に東京に向くのも自分から決め、初対面の先生には、今まで親には見せなかった面まで率直に出したそうです。まずとりあえずショートホームステイでもしてちょっと旅行してみて、自分に合えば、一年と考えればいいと思っていたのに、既にその日に一年間行きたいと言ったのに少々驚きと迷いがありましたが「お母さん、この子なら大丈夫！20年間いろいろな子の留学の手助けをしていてわかる、娘さんの気持ちは本物、やっていけますよ！」の難波先生の言葉に大いに励まされ、任せようと思いました。ラッキーなことに娘が希望しているNZで

世話になるえり子先生が1ヶ月後に日本に連れて来て、戻るときにいっしょに連れて行って下さるということで話は進みました。6月24日、えり子先生に成田で会い親子でうまくお互いの気持ちを言えないまま、託すことになったのは心苦しかったのですが、娘自身が決定したことそれがいちばん大切と思い旅立たせました。EVAの先生から最初の数日はかなり緊張していて、ごはんもあまり食べられなかったが、だんだん慣れてきて順調にしていること、学習面で数学がとくいでEVAの先生が感心していることやあの娘の性格をちょっとシャイだけどとても気持ちのいい子ですというメールをいただき、あの子のよい面を見てもらっている、あの子を認めてくれている人たちが周りにいるということがとても嬉しかったです。2~3カ月経ってからは毎日30分ほど話をするようになりました。でも、難波先生やえり子先生がいて下さり私も娘もどうしていいかわからなくなったとき2人から適確なアドバイスがいただけて本当によかったです。親にはつい我がままがでてしまうけど、2人の先生からのアドバイスは率直に聞けたようでした。先日もホストの人がEVAの行事によくいっしょに参加してくれること、娘がホストの息子をとてもかわいがり、その子も娘によくつきあってくれてホストファミリーとEVAの生徒の交流が、とてもうまくいっているパターンですとのメールをいただき、人間関係の上でも本当に成長したんだなと思いました。今まではEVAのアットホームな雰囲気先生たちに常に見守ってもらえてのびのびとやってこられたのが、この2月から現地の高校に転入してきくとまたいろんな壁にぶち当たることだと思います。でも娘の持っている粘り強さでひとつひとつ越えていってほしい、親としては、遠く離れている日本からエールを送るしかありません。